

平成18年（暦年）入込観光客「推計」調査の概要

（1）調査の目的

この調査は、本県の観光地に来遊する観光客を調査（推計）し、今後の観光行政施策等に役立てることを目的とする。

（2）調査方法

県内全市町村からの報告に基づいて集計した。

（3）調査の要領

ア 調査の範囲

県内全市町村（各市町村単位）

イ 調査の期間

平成18年1月1日から平成18年12月31日まで1年間

ウ 調査事項

（ア）観光客の目的別の入込客数

ハイキング及び登山、花見及び紅葉狩り、釣り、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学、遊園地、各種行事・まつり見学、スポーツ（観覧客、ゴルフ、テニスなど。）、産業観光（観光農業を含む。）、その他（ドライブ、ボート遊

（イ）県内・県外別（日帰り・宿泊）の入込客数

（ウ）利用交通機関別の入込客数

（エ）消費金額

（4）調査結果

ア 観光客入込の動向

平成18年1月1日から平成18年12月31日までの入込客数は、1億1,019万人と推計され、前年の1億905万人と比べて、114万人増加し、率では1.0%の増加となった。

目的別では、各種行事まつり見学客が前年より3万人増加し、10年連続で1位となった。前年と同じく2位のスポーツ客は、56万人増加した。3位の遊園地客は前年より10万人減少した。なお、前年と比較すると、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客、産業観光客、その他は増加となったが、ハイキング及び登山客、花見客及び紅葉狩り客、釣り客は減少となった。

イ 県内・県外別の状況

県内客6,726万人（構成比61.0%）、県外客1,590万人（構成比14.5%）、不明2,703万人（構成比24.5%）であった。

ウ 日帰り・宿泊の状況

日帰り客 8, 128 万人（構成比 73.8%）、宿泊客 188 万人（構成比 1.7%）、不明 2, 703 万人（構成比 24.5%）であった。

エ 利用交通機関別の状況

利用交通機関別で入込順位をみると、自家用車が圧倒的に多く 4, 924 万人、次いで鉄道 1, 480 万人、その他 1, 129 万人、バス 771 万人の順（不明 2, 715 万人を除く。）であった。

オ 目的別の状況

目的別の入込状況をみると、各種行事まつり見学客 2, 721 万人（構成比 24.7%）、スポーツ客 2, 300 万人（構成比 20.9%）、遊園地客 1, 414 万人（構成比 12.8%）、産業観光客 1, 384 万人（構成比 12.5%）、寺社参詣及び文化財・天然記念物見学客 1, 121 万人（構成比 10.2%）、花見客及び紅葉狩り客 635 万人（構成比 5.8%）、ハイキング及び登山客 342 万人（構成比 3.1%）、釣り客 90 万人（構成比 0.8%）、その他 1, 012 万人（構成比 9.2%）となった。

カ 消費金額の状況

消費金額の総計は 1, 047 億円（55市町村）である。1人当たりの消費金額は 1, 396 円で、前年に比べ 205 円、12.8%の減となった。

キ 月別の状況

観光客数については、8月、10月、7月、11月の順に多い。また、消費金額については 10月、8月、5月、11月の順に多い。